

第1学年 国語科

教科のねらい

- ① 国語への興味や関心をもち、意欲的に学習を進める態度を育てる。
- ② 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする力を身に付ける。
- ③ さまざまな材料をもとに自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして論理的に表現する力を身に付ける。
- ④ 目的に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する力を身に付け、読書によって自己を向上させようとする態度を育てる。
- ⑤ 漢字や言葉の意味を理解し、用途に応じて使い分ける力を身に付け、正しく美しい文字を書く力を育てる。

☆学習を進めるに当たって

使用教材	○教科書 国語（光村図書）新しい書写（東京書籍） ○副教材 国語の学習（明治図書） すらすら基本文法（浜島書店） 漢字練習ノート（とうほう） 国語便覧（浜島書店）	持ち物	教科書 ノート ファイル 国語の学習 漢字練習ノート 国語便覧 すらすら基本文法
学習の進め方	《確かな学力を身に付けるには》 ○学習課題を把握し、課題に対して前向きに取り組もう。 ・疑問に思ったことや、分からなかったことを解決する努力をしよう。 ・学習課題に対して多面的に見たり考えたりする力を付けよう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手なところにも挑戦しよう。 ・分かったこと、解決できたことに自信をもとう。 《家庭学習》 ○予習として、教科書を読み、新出漢字の練習をしよう。（「漢字練習ノート」） ○復習として、授業で習ったところを、ノートやワーク（「国語の学習」）等で確認しよう。 ○宿題・提出物を、期限までに着実に仕上げよう。 《定期テスト》 ○テスト発表時に通知された範囲を計画的に復習しよう。 ○授業中に学習したところを復習しよう。 ○放課後行う学習会（質問日）などを活用し、疑問点などを解決しよう。 ○テストが返却されたら、間違ったところをやり直そう。		

学習上の注意等	○授業中は先生や発表する人の話をよく聞き、気持ちを集中させよう。 ○積極的に自分の意見を発表しよう。 ○ノートに自分の考えや感想も書き込もう。 ○授業中に配られたプリントはファイルにきちんととじて、復習に活用しよう。 ○家庭学習で時間に余裕が生まれたときは、読書・ワーク・漢字の学習・予習・復習などから自分が課題を選択し、自主学習を進めよう。
---------	--

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評価観点		評価の場面・方法
1	4	詩「野原はうたう」 物語「花曇りの向こう」 言葉「話し言葉と書き言葉」	中間	国語に対する関心・意欲・態度	・国語に対する興味・関心を持って、意欲的に授業に取り組もうとしている。 ・学習した内容を振り返り、自分の力にしている。	・チャイム着席 ・授業の準備 ・漢字テストへの取り組み方 ・授業中の発言・発表の様子 ・行動観察 ・ノートのまとめ方 ・課題などの提出物
	5	説明文「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」 書く「わかりやすく説明しよう」				
1	6	話す・聞く 「『好きなもの』を紹介しよう」 漢字「漢字の組み立てと部首」 文法「言葉の単位」	期末	話す・聞く能力	・相手の立場や考えを尊重し、目的や場面に応じて、的確に話したり聞いたりすることができる。	・話を聞く様子 ・発表や討論の内容、様子 ・定期テスト ・聴き取りテスト
	7	詩「詩の世界」 随筆「空を見上げて」 情報の集め方を知ろう 読書案内、課題作文				
2	9	物語「星の花が降るころに」 「大人になれなかった弟たちに……」	中間	書く能力	・文章の形態に応じ、適切な構成で書くことができる。 ・自分の立場および伝えたい事柄を明確に示し、自分の考えや思いが相手に伝わるように書くことができる。	・ノート ・意見文、手紙文 ・要旨をまとめる ・感想をまとめる ・課題作文 ・読書感想文 ・定期テスト
	10	記録「シカの『落ち穂拾い』」 漢字「漢字の音訓」 古典「いろは歌」 「月に思う」 「蓬萊の玉の枝」				
2	11	話す・聞く 「話題や方向を捉えて話し合おう」 文法「文の組み立て」 言葉「指示する語句と接続する語句」	期末	読む能力	・文章の筋道をとらえながら正確に読み、内容を正確に理解することができる。 ・表現の仕方や文章の特徴に注意して読むことができる。	・授業の課題 ・朗読 ・定期テスト
	12	漢文「今に生きる言葉」 古典「小倉百人一首」 書写（毛筆・楷書と行書） 読書案内、課題作文				

3	1	説明文「幻の魚は生きていた」 書く「（鑑賞文）根拠を明確にして 魅力を伝えよう」	学年末	言 語 に つ い て の 知 識 ・ 理 解 ・ 技 能	・漢字を正しく書くことができる。文脈における語句の意味を正確にとらえることができる。 ・字形や字の大きさ、配置を整えて書くことができる。 ・日本語の文法を正しく理解できる。	・漢字テスト ・定期テスト ・ノート ・書写作品 ・課題などの提出物
	2	言葉「さまざまな表現方法」 文法「単語の分類」 詩「竹」 漢字「漢字の成り立ち」				
	3	話す・聞く・書く 「一年間の学びを振り返ろう」 小説「少年の日の思い出」 詩「ぼくが　ここに」 読書案内、課題作文				